

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2017年7月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 16.5	7/18	0	18.0	33.00	0	0	0	10	20	Dt20
		10	17.0	32.82	0	0	10	0	0	
		20	10.4	32.89	0	0	0	0	10	Dt10
		30	6.5	32.67	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.8	7/24	0	21.9	30.98	0	0	0	0	0	
		5	18.5	31.40	0	0	0	0	40	Dt30, Dro10
		10	16.2	32.18	0	0	0	10	100	Dt100
		15	17.6	32.78	0	0	20	10	230	Dt230
		20	16.5	32.82	0	0	70	0	340	Dt340
	25	13.7	32.44	0	0	110	0	590	Dt590	
八雲 噴火湾西部 12.0	7/24	0	22.3	29.66	0	0	0	0	0	
		5	21.3	31.05	0	0	0	0	0	
		10	20.4	31.23	0	0	0	10	40	Dt40
		15	17.4	31.21	0	0	0	0	0	
		20	10.3	32.02	0	0	0	0	20	Dt20
		25	7.4	32.19	0	0	0	0	20	Dt20
	30	6.3	32.33	0	0	180	0	30	Dn10, Dro20	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 フロトゴニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

7月中旬の水温は、太平洋中部では6.5～18.0°Cです。7月下旬の水温は、噴火湾東部では13.7～21.9°C、噴火湾西部では6.3～22.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2017年7月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 10.0	7/10	0	23.8	16.86	0	0	0	0	0	
		5	11.7	31.80	0	0	30	130	60	Dn30, Dro30
		10	9.4	32.11	0	0	40	80	120	Dn100, Dro10, Di10
		15	8.2	32.37	0	0	0	100	60	Dn60
		20	7.2	32.35	0	0	0	20	40	Dn40
森 噴火湾西部 12.0	7/10	0	21.1	31.17	0	0	0	0	0	
		10	10.2	31.93	0	0	30	20	20	Dn10, Dro10
		20	5.9	32.26	0	0	0	10	0	
		30	4.8	32.52	0	0	0	20	0	
知内 津軽海峡 8.5	7/12	0	17.7	34.01	0	0	0	10	0	
		10	15.6	34.01	0	0	0	10	0	
		20	14.9	34.04	0	0	0	0	0	

At=Alexandrium tamarense アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾東部では6.4～23.8°C、噴火湾西部では4.8～21.1°Cです。

7月中旬の水温は、津軽海峡では14.9～17.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2017年7月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 13.5	7/3	0	13.3	31.80	0	0	70	60	20	Dn10, Di10
		10	9.7	32.39	0	0	10	10	40	Dn30, Dru10
		20	9.1	33.20	0	0	0	30	50	Dn50
		30	8.3	33.19	0	0	0	20	20	Dn20
鹿部 噴火湾湾口部 13.0	7/7	0	19.0	31.50	0	0	0	0	0	
		10	11.3	31.69	0	0	50	70	30	Dn20, Dt10
		20	7.7	32.18	0	0	0	50	40	Dn40
		30	5.7	32.35	0	0	0	30	10	Dn10
		40	4.9	32.55	0	0	0	0	10	Dn10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾湾口部に出現しています。

7月上旬の水温は、太平洋中部では8.3～13.3°C、噴火湾湾口部では4.9～19.0°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)